

大規模増殖場開発事業調査

— 石 持 地 区 —

(要 約)

三木 文興・足助 光久・沢田 満・尾坂 康
植木 龍夫・仲村 俊毅・植村 康・鎌田 専司
佐々木鉄郎※ 苦米地昭一※ 小西 善一※※

コンブを対象とした大規模増殖場開発事業は、既に今別地区において調査（昭和47～49年度実施）が完了し、昭和50年度から事業が実施されている。

石持地区の事業構想は今別地区と同様な考え方であり、低利用砂礫地帯の開発をねらいとしている。

この地区の調査期間は昭和50～51年度の2年間であるが、昨年度は、主として、生物および底質などの漁場環境調査（地区の約1/2の区域）を行なうとともに、モデル施設などの試験施設を設置し、施設の埋没状況や生物の付着状況などについて、若干の追跡調査を実施した。（昭和50年度大規模増殖場開発事業調査報告書 下北・石持地区 青水増資料 S51-№8参照）

本年度は、未調査区域の生物および底質調査、潮流調査などの漁場環境調査を行なうとともに、昨年度および本年度に設置したモデル施設などの試験施設について、その埋没状況や生物の付着状況などを調査した。また、コンブ幼芽食害の問題から、キタムラサキウニの生態について調査を実施した。

そして、2年間の調査結果を総合考察し、開発適地、開発方法などについて検討した。

詳細は「大規模増殖場開発事業調査総合報告書 一石持地区一 青水増資料 S52-№8」および「大規模増殖場開発事業調査総合報告書 昭和52年度版 水産庁」を参照されたい。

※ むつ地方水産業改良普及所、 ※※ 大畑地方水産業改良普及所